

2 級 2 次試験を受験される皆様へ

2022 年 2 月 19 日（土曜日）実施の MIDI 検定 2 級 2 次試験を受験される方は、下記内容をお読みにになり、受験当日までに準備を行うようお願いいたします。

■環境の整備

2 級 2 次試験を受験する際には、受験者の皆様で「課題提出」を行うための環境を整えていただく必要があります。

必要な環境は以下の通りです。

- ・次の機能を有する DAW ソフトウェア、またはハードウェア

- +SMF の Format 1 が書き出せること

- +GML2 システムオンのシステムエクスクルーシブが入力できること

- +ノートメッセージが入力、編集できること

- +プログラムチェンジが入力、編集できること

- +コントロールチェンジが入力、編集できること

- +ピッチベンドチェンジが入力、編集できること

- ・オーディオデータを作成するための環境

- +GM マップおよび GML2 のドラムマップに存在する各種音色を演奏できるシンセサイザー音源（GM 準拠でなくても、同様の音が出れば構いません）

- +MIDI データを演奏させた状態を録音またはバウンスし、サンプリングレート 44.1kHz、16bit、ステレオ形式の WAV ファイルを作成できる環境

- ・2 月 19 日の試験説明時に ZOOM ミーティングにて試験説明を受講できる環境

※上記については 2021 年 2 月上旬に詳細をお知らせする予定です。

- ・課題データを提出するネットワーク環境

課題提出は、受験者のコンピューターから Dropbox へアップロードする形式で行われます。こちらからファイルリクエスト機能を使ってアップロード先を指定しますので、特に Dropbox の契約をする必要はありません。

- ・筆記試験の答案用紙を写真に撮り、Dropbox へアップロードする環境

スマートフォンまたは、デジタルカメラ+パソコンを使用し、試験当日に撮影した写真を Dropbox へアップロードできる環境をご用意ください。こちらもファイルリクエスト機能を使ってアップロード先を指定しますので、特に Dropbox の契約をする必要はありません。

■課題提出に備えた学習について受験案内に記載されているとおり、MIDI 検定 2 級 2 次試験は「筆記試験」と「課題提出」の 2 つに分かれております。まず、「課題提出」についてですが、2021 年 12 月 24 日に発表された「練習曲」4 曲のスコアならびに MP3 を参照してください。

この「練習曲」は「課題提出」の際に「課題曲」となる楽曲の要素を取り入れた練習用の楽曲です。試験当日までにそれぞれの楽曲を DAW 上で制作する練習を行ってください。MIDI チャンネルおよびセットアップデータは、各スコアの 3 ページ目に記載されています。

MIDI データのベロシティ値ですが、スコアにその数値が指定されているもの以外はスコアの強弱記号に従い、「ミュージッククリエイターハンドブック」p.79 の表 3-2-15 に記載されているベロシティ値で入力してください。

スコアに記載されている C.C.#1 = や P.B. = はコントロールチェンジやピッチベンドチェンジを入力して表現を加えることを意味しています。記載ルールは「ミュージッククリエイターハンドブック」6 章の 5、データの入力に関する参考例は 6 章の 4 に記載されていますので、そちらを参照して入力の練習を行ってください。

MP3 には入力されたデータを実際に音源で再生したものが収録されていますので、ニュアンスなどを確認するようにしてください。作成した MIDI データは SMF の Format 1 で書き出して、再度読み込み、きちんと書き出されているかどうか確認しておくようにしてください。

MIDI データを作成したら、それぞれのパートに任意の音源を割り当て、オーディオ化する練習を行ってください。オーディオ化については、作成した MIDI データを GML2 対応音源で再生した状態に近いオーディオデータを作成していただきます。使用する音源は GML2 準拠でなくても良いですが、ドラムがピアノで再生されているなどの音色違いや、オクターブが異なっている場合には減点対象となります。MP3 を参考にして適確なオーディオデータを作成してください。作成する際のオーディオデータのフォーマットは 44.1kHz、16bit、ステレオの WAV 形式です。

■筆記試験について「筆記試験」に関しては、課題曲のスコアに関する設問が出されます。任意の小節の、任意のノートのイベントリスト表記を記載する問題や、楽曲のテンポなどを問う問題が出されます。実際に練習曲の制作を行いながら、イベントリストやスコアに記載されたノートの音名などを意識して準備を行ってください。また、イベントリストについては、TPQN=480 で 3 級筆記試験など同様の記載方式を用いて回答することになります。お使いの DAW のイベントリスト表記がこれらのフォーマットと異なる場合には、変換して回答できるように準備しておいてください。

以上です。